

 恒例の名古屋市消費生活フェアで
ACAPミニ消費者啓発展 & クイズ大会を実施



「ACAPミニ消費者啓発展」では
消費者との会話ははずむ



消費生活フェアの目玉「ACAPクイズ大会」は
今年も大好評

- 実施日 9月20日(土)～21日(日)
- 会場 オアシス21 銀河の広場

■開催内容

台風13号の影響が心配されたが、穏やかな秋晴れのもと2008年度名古屋市消費生活フェアが開催された。来場者数は4万5千人と目標の4万2千人を大きく上回った。今年のテーマ“みんなで守ろう身近な安全・安心”を掲げ、食や製品の安全性、悪質商法への対処、多重債務問題、環境に配慮した生活などに関する展示、ステージイベント、クイズラリーなどが実施された。ブースコーナーには行政関連、協賛団体の他、消費者団体などが出展、ACAPも「ミニ消費者啓発展」を開催した。会員企業21社から提供いただいた1,060部の啓発資料を西日本支部中部地区部会のメンバーなど30名の協力を得て来訪者へ配布して啓発を行った。

初日の20日(土)は、なごや消費者団体連絡会の佐々木会長とACAPの馬場西日本支部長による開会宣言を合図にステージ上での音楽演奏、ダンス披露、リフォームファッションショー、法テラスの寸劇などが催された。ACAP会員企業であるINAX・デンソー・日本メナード化粧品・敷島製パン・リンナイ・ミツカン・ホーユー・中央出版・NTTドコモ・東海漬物・アイシン精機・ニチハ・トヨタ自動車(順不同)の13社がACAPクイズ大会で出題した。正解者へは26社から提供された1,988個の景品が配られた。

その後の“悪徳商法替え歌コーラス”には会員企業の相談室長や相談員も参加して、日頃はお客様を相手にしか電話口で聞くことのできない美声(?)を披露してもらえた。また、リサイクルファッ



コンショーの初日には馬場支部長が、2日目には田畑理事が、ゼッケンを縫い合わせた上着を身にまとい、たった一人だけ男性モデルとして登場、会場からやんやの喝采を受けていた。

閑話休題、このフェア開催の間も「事故米」、「中国のメラミン入り牛乳」事件の詳細が新聞・テレビで報じられており、当会場に足を運んで下さった消費者の皆さんには正しくその意図(テーマ)を理解してもらい絶好の機会であったと思う。一方、商品・サービスを提供するACAP会員を含めた企業側にとっても良い意味での強いインパクトを与えることができたのではないかと、感じた次第である。

